

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1.その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
52	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>記録などは、内容が見えない・見せない配慮をしている。不穏・失禁などの対応を居室にて行い、他の入居者に分からないようにしている。</p>	<p>入居者の理解力に合わせて対処する。スタッフが常に気をつけて行っている。(ちゃんつけなど行わない)</p>
53	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたりわかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたい納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>その都度の声かけと、リハビリなどご本人の体調を考慮して、相談しながら行う</p>	<p>入居者とゆっく話し共感し合う時間を作っている。</p>
54	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>入居者の都合を優先できていないこともある。他の入居者の突発的な体調変化がある場合や集団生活であるがために対応できていないこともある。生活歴について、細かに把握を行うようにしている。</p>	<p>集団生活であるため、全入居者の希望を同時に支援できないが、できる限り生活歴などを把握し個々の支援にあたっている。</p>
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
55	<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>理美容は2ヶ月に一度で訪問にて対応している。服装に関しては、日々入居者と相談して決めている。女性はご自分でお化粧される方もおり男性は介助ではあるが毎日の髭剃りも行っている。</p>	<p>女性はお化粧を忘れている方もおり、外出時などお化粧やお洒落を楽しむ時間を作っている。</p>
56	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>食材の下準備や食卓の片付けなど日々の仕事として行っている。食事の摂取は職員も同じ物を食べている。</p>	<p>料理の盛り付けなど見た目も考慮している。</p>
57	<p>本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	<p>個人の嗜好を考慮して提供している。嫌いなものは代替品にて対応している。尚、現在喫煙者は居らず。</p>	<p>手作りのおやつ等を入居者と一緒に作り提供している。</p>

グループホーム ウイング

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
58	気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	個々に排泄表を作り、排泄パターンの把握をして誘導している。		さらに個別で排泄誘導など細かい計画を立てていきたい。
59	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	月・水・金の10時～15時間に、個々の状態で入浴していただいている。		別ユニットが火・木・土の入浴なので、決められた日以外でも入浴可能である。
60	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	夜間の入眠は、個別に入眠時間を把握して、誘導しており支援できている。昼間の休息も体調に合わせて声かけなどを行い誘導している。		体調などを把握し休息や就寝時間を促していく。
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
61	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	個々の生活歴に合わせたレクリエーションを計画したり、生活の役割を見つけて提供している。		読書や買い物など個々に合わせた支援も見つけていきたい
62	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	個人での管理(所持)は困難のため、施設預かりとしているが、個人での買い物や施設の買い物の場合職員が支払うのではなく入居者に支払っていただいている。	○	生活必需品の買い物などできる限り同行していただき、支払いもご本人でしていただく。
63	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	朝の散歩や買い物など日常的に外出できる機会を設けている。	○	入居者の希望した時間に合わせて外出は難しい。希望に応じられるようにしたい
64	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり支援している	月行事など、季節に合わせた花見など、家族の参加行事もある。お彼岸などは家族にお墓参りなどをお願いしている。	○	ご家族との外出が少ない為機会をもっと増やせるよう話し合いたい

グループホーム ウイング

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
65	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり手紙のやり取りができるように支援をしている	認知があるため時間など構わず希望されることがあるが時刻を伝え翌日に対応する。ご家族の希望で拒否されている所もあり。ご家族からの電話は常時取り次ぎを行っている。	○	手紙をかかれる方は少ない為促していきたい。季節に手紙などを出していきたい。
66	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	フロアや居室にて談話できるよう配慮している。テーブルの設置など		必要な方には間に入りコミュニケーションができるよう配慮している。
(4)安心と安全を支える支援				
67	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており身体拘束をしないケアに取り組んでいる	マニュアルを作成しスタッフが閲覧し理解できるよう努めている。	○	身体拘束についての勉強会などに積極的に参加していきたい。
68	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は基本的に鍵はかけておらず、ベランダなどの転倒事故の恐れが考えられるところは施錠している。		不穏や徘徊時以外は開放できるよう取り組んでいる。
69	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	日中は、勤務スタッフ3名の声掛け合いにて所在確認をしている。夜間に関しては、2時間おきの巡視をしている。体調不良の方に対しては、細めに訪室 巡視を行っている。		居室は個人のプライベートルームとして意識している。
70	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	注意が必要なはさみやカッターナイフなどは施設と家族で相談をし自己管理できる場合は本人管理としている。それ以外は施設管理としている。		入居者個人が所持している、危険と思われる物品の把握をしている。管理場所の施錠を行っている。
71	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	毎月ミーティングで事故報告書などを活用し話し合っている。また、消防局主催の上級救急救命講習を受講している。防火訓練に入居者も参加している。	○	事故防止の勉強会に積極的に参加していきたい。

グループホーム ウイング

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	消防局主催の上級救急救命講習を受講している。一部ではあるが救急救命指導者講習も受講している。	○	ホーム内で定期的に訓練を行いたい。専門的な外部講習の受講をしたい。
73	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人の協力を得られるよう働きかけている	年2回総合防災訓練を入居者も参加して行っている。管轄の消防署や役所に問い合わせして避難場所を確認している。	○	地域の方との連携を確保していきたい。
74	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	事故発生時には速やかにご家族に報告している。今後の対応についても話し合いをもっている。	○	話し合ったことの記録と閲覧できるようにしていきたい。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
75	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎朝のバイタルチェックと体調変化を発見次第ホームドクターに相談し指示を仰ぐ。(ホームドクターは24時間対応)		情報を文章化してスタッフが閲覧できるようにしている。
76	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方薬一覧を個人カルテに入れておりいつでも確認できるようにしている。	○	副作用の情報は配布等して把握に努めていきたい。
77	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	排便のサイクルの把握と定期的にトイレに座って排便トレーニングを行っている。体操の実施、ヨーグルトなどを朝食で摂取していただいている。	○	ご家族の希望もあり個々に対応している。今後も入居者個々にあったものを提供していきたい。
78	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後口腔ケアを促して(介助)いる。義歯の方は毎晩消毒している。		毎週往診して口腔ケアをしてもらっている。

グループホーム ウイング

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
79	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量の記録をしている。おやつを10時と15時に提供している。19時に水分提供をしている。夜間帯はペットボトルの配布をしている。		水分摂取量の少ない方にも少し成分補給をこまめにする必要がある。
80	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	晩協会への参加やマニュアルを常においている。マスクやグローブの使用をしている。食品衛生法により毎月職員の検便を行っている。	○	保健所や関係機関などの研修会に行き、会議などで資料を配布して全員に周知徹底を呼びかけていく。
81	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	衛生管理表を作り毎日チェックするようにしている。食器乾燥機にて調理器具・食器など乾燥して使用している。日々のメニューを食材宅配業者で行っている。		衛生管理の徹底。食材消費期限の確認。
2.その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
82	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関周辺に花壇や植木を配置し、季節の飾りなどを行っている。日中は施錠せず季節によっては開放している。	○	玄関周辺の花壇の手入れや清掃の徹底をしたい。
83	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないよう配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節に合わせた装飾を心掛けている。自然光を取り入れている。食べこぼしなどが無いよう毎食後清掃している。		清掃の徹底。時折難聴者が居るため、テレビの音量が大きくなっていることがあり配慮が必要である。
84	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共用スペースに数多くの椅子やテーブルの配置して利用できるようにしている。		食事時のテーブル席は今後も配慮が必要である。

グループホーム ウイング

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
85	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時に、なるべく家庭で使用されていた物(使い慣れたもの)を持参して頂いている。(仏壇やテレビ・タンスなど)		ご本人やご家族と相談して家具の配置など決めている。
86	換気 空調の配慮 気になるにおいや空気のおどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	エアコンなどの温度調整や換気はこまめに行っている。朝の外気の取り入れをしている。フロアに温度計を設置して温度管理を行っている。	○	利用者の衣服の調整に気を配りたい。
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
87	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	廊下など車椅子の方でも通れるよう生理整頓に取り組んでいる。廊下や浴室など利用者が使うところには手摺をつけている。		個人の状態に合わせて、絨毯などを使用している。
88	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	各場所にカレンダーを設置したり、各居室に表札をつけたりして工夫している。	○	出来る事、出来ない事の把握をして出来る事を伸ばして行きたい。
89	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり活動できるように工夫している	花壇やベンチの設置をしている。ベランダには洗濯干しをしたり、談話できるようベンチの設置をしている。	○	外出困難方もベランダで外気浴やお茶が出来るよう工夫したい。ベランダにはプランターなどを利用して収穫できる植物を置きたい。

.サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
項 目			
90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の	
		利用者の 2/3 くらいの	
		利用者の 1/3 くらいの	
		ほとんど掴んでいない	
91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある	
		数日に1回程度ある	
		たまにある	
		ほとんどない	
92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の 2/3 くらいが	
		利用者の 1/3 くらいが	
		ほとんどいない	
93	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の 2/3 くらいが	
		利用者の 1/3 くらいが	
		ほとんどいない	
94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の 2/3 くらいが	
		利用者の 1/3 くらいが	
		ほとんどいない (季節によって異なっている。)	
95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の 2/3 くらいが	
		利用者の 1/3 くらいが	
		ほとんどいない	
96	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の 2/3 くらいが	
		利用者の 1/3 くらいが	
		ほとんどいない	
97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と	
		家族の 2/3 くらいと	
		家族の 1/3 くらいと	
		ほとんどできていない	

グループホーム ウイング

項 目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように	
		数日に1回程度	
		たまに	
		ほとんどない	
99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている	
		少しずつ増えている	
		あまり増えていない	
		全くない	
100	職員は、生き活きと働いている	ほぼ全ての職員が	
		職員の 2/3 くらいが	
		職員の 1/3 くらいが	
		ほとんどいない	
101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の 2/3 くらいが	
		利用者の 1/3 くらいが	
		ほとんどいない	
102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が	
		家族等の 2/3 くらいが	
		家族等の 1/3 くらいが	
		ほとんどできていない	

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

「心やすく おだやかに のんびりと 自分らしく」を基本に無理をせず利用者それぞれのペースで生活していただけるよう心掛けています。